

国際観光学科

科目名: 観光ICT概論			担当教員 氏名: 松本 三千人		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	
2	1年次 前期	専門科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:					
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード	
近年はコンピュータの発達により、ビッグデータの活用に注目が集まっている。観光業界においても、社内外のデータ量には膨大なものがあり、その分析結果を適切に解釈し、事業経営や顧客満足に活用するためにはデータ分析の知識がますます必要とされる。この授業では各種ツールを使って、データの相関分析や、回帰分析の基礎的な手順、手法を学び、それぞれの持つ特徴を理解し、その活用法を学習する。またこの授業は2年次の「観光ICT事例研究」、「観光ICT開発実務実習」へとステップアップしてゆく。				ビッグデータ、データ分析、エクセル 相関分析、回帰分析	
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1、2、3、4、6、8、9	
A 知識・理解力	データ分析の知識を体系的に理解する。				
B 専門的技術	各種ツールの基本的な使い方、発展的使い方を身につける。				
C 論理的思考力	情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。				
D 問題解決力	問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析、解決の方向性をたてることのできる。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 50 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: 50 %	
特記事項: ・上記「その他」では、授業の態度、授業中の課題演習の達成状況等で評価する。 ・授業外の予習・復習が不可欠であり、反転授業(アクティブラーニング)として、学生が主体的に関わる意識を持つことを重視する					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 授業中に課題演習を行う。また、授業期間の中間と最後に確認試験を実施する。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 授業中に出す演習課題については各学生毎にチェックする。授業期間の中間と最後に実施する確認テストについては採点結果を伝える。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①ガイダンス: 本授業の目標及びExcelの基本操作を学ぶ			・データの処理に必要なExcelの基本操作	240分	
②ビッグデータについて学ぶ			・ビッグデータとは ・ビッグデータの利用・背景・活	240分	
③データの抽出と集計について学ぶ(1)			・データの並べ替え ・関数によるデータの抽出・集計	240分	
④データの抽出と集計について学ぶ(2)			・オートフィルターによるデータ抽出 ・ピボットテーブルによるクロス集計	240分	
⑤データの視覚化について学ぶ			・各種グラフ(棒グラフ、レーダーチャート、散布図、ヒストグラム)	240分	
⑥データの特徴について学ぶ			・データの分布・ヒストグラム、分散・標準偏差等、基本統計量	240分	
⑦中間確認テスト			・データ抽出・集計、グラフ作成等の確認	240分	
⑧量的データ、質的データの関連性について学ぶ(相関分析・クロス分析)(1)			・量的データの関連性を見る(散布図からの相関係数の抽出)	240分	
⑨量的データ、質的データの関連性について学ぶ(相関分析・クロス分析)(2)			・質的データの関連性を見る(クロス表の視覚化、期待度の計)	240分	
⑩データの回帰分析と予測について学ぶ			・回帰分析、回帰式を用いた予測、分析ツールを用いた回帰分	240分	
⑪実データを用いた演習(1)			・RESASの使い方、データの見方の視点等	240分	
⑫実データを用いた演習(2)			・ID-POSデータを用い、Excel操作による各種グラフ作成	240分	
⑬実データを用いた演習(3)			・ID-POSデータを用い、Dolphin Eyeツールによる資料作成	240分	
⑭実データを用いた演習(4)			・Dolphin Eyeからダウンロードしたデータで相関係数を出し、相関	240分	
⑮最終振り返り			・授業全体で身に着けた知識・スキルの確認	240分	
使用テキスト: テキストは使用せず、ワークに必要なデータを提供する。			その他参考文献など: 「Excelで学ぶ統計・データ解析入門」(ISBN978-4-621-08297-3)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): Excelの複雑な操作が求められるので予習・復習をしっかりと実施する事。					